

株主通信 2018

2017年3月1日 - 2018年2月28日（第36期）

社是

Company creed

技術で社会に貢献する
We contribute to the society
by providing technical services.

目次

Contents

- 4-5. 代表メッセージ
- 6-7. ソーバルグループ事業案内
- 8-9. 2018年2月期の総括
- 10-11. 2019年2月期の見通し
- 12. 業績ハイライト
- 13. 財務諸表
- 14. 株主優待／配当について
- 15. 株式基本情報／株主情報
- 16. 会社情報／株式手続き



企業にとって、最大の資源は人材です。

ソーバル株式会社 代表取締役社長兼CEO 推津 敦

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

企業にとって、最大の資源は人材です。

私どもは、高い意識と技術をもつ人材が、充実した環境で働くことが価値あるテクノロジーを生み出す近道だと考え、社員の技術力と人間力を高められる環境を一貫して構築してまいりました。

また、コンシューマ向け製品をはじめ、WEB、マニュアル制作、医療関連、自動運転技術に至るまで、幅広い分野のお客さまのニーズに真摯にお応えし、従来のソフトウェア開発に留まらず、組込み・ハードウェア開発、IoT、AIなど技術の提供領域を広げてまいりました。更に、システム開発をワンストップ受注できるこれまでの体制をより一層充実させるために、グループ各社との協業や人的・技術的交流を通してシナジー効果を日々追求しております。

現在、世界を見渡せば技術革新による様々な変革が起きております。新技術の更なる普及によって、社会の仕組みですら根底から変わっていく可能性があります。

弊社は、こうした新たな未来に向かって、「技術で社会に貢献する」という1983年創業以来の理念のもと、立ち止まることなく更なる高みを目指してまいります。

そして、お客さまのご要望がますます多様化・高度化している時代にあっても、長年にわたって築き上げた信頼と実績をベースに、品質の高いサービスを提供してまいります。

社会に貢献できるソーバルグループとして、CSR活動にも積極的に取り組み、すべてのステークホルダーの皆さまの期待に応え信頼を獲得するべく、全社員一丸となって邁進してまいります。

今後とも引き続き、皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ソーバルグループ事業案内

ソーバル株式会社

～35年にわたる豊富な開発実績と最先端技術への取組み～



ソーバルは、ソフトウェアの開発に長年にわたり取り組んでまいりました。特に、国内外でトップレベルのお客さまのニーズに真摯に応えることで、経験豊かな開発技術者の育成と幅広くかつ専門的なソリューションを培ってまいりました。

現在は、国内でも有数の「組込み開発」の独立系企業として高い評価をいただくとともに、「ハードウェア開発」「アプリケーション開発」「スマートデバイスアプリケーション開発」「WEB・クラウド開発」「マニュアル制作」「品質評価」など多岐にわたるソリューションを提供しております。

さらに、これらITソリューションの提供を主たる事業としつつ、自動運転分野・AIを活用した開発など最先端技術への取組み、独自の製品開発（スマホアプリ開発、SNS構築システム等）にも着手しております。

社会環境の急速な変化にともなって、求められる技術も多様に進化を遂げています。

ソーバルは、社員一人ひとりがこれら新旧の技術を日々追求し糧としつつ、柔軟性と機動力を発揮して、お客さまの様々な声に応えてまいります。

株式会社コアード

～企業向け業務システム開発をワンストップで受注～

CORERD
株式会社コアード

社名	株式会社コアード
本社所在地	東京都港区芝浦4-16-23
設立	昭和62年2月
資本金	2,000万円
事業内容	コンピュータソフトウェアの開発 コンピュータシステムのコンサルティング

富士通グループのコアパートナーとして、流通業を中心に出版・印刷業界から、住宅・不動産、金融、スポーツ分野など幅広い業界で必要とされるシステム開発を行っております。時代の変化に合わせて、最新の技術トレンドを捕捉し、様々な対象業界の業務知識に通じることで、お客さまの業務運営の効率化や電子化対応を支援してまいります。



アンドールシステムサポート株式会社

～ニッチな強みを持つシステム開発の老舗企業～

ANDOR システムに挑戦する
アンドールシステムサポート株式会社

社名	アンドールシステムサポート株式会社
本社所在地	東京都品川区南品川12-15-8
設立	昭和44年11月
資本金	9,900万円
事業内容	ハードウェア設計・開発・製造 ソフトウェア等の受託開発

現代のおう盛なネット消費を支える上で欠かせない技術を提供しております。また、昨年は英国Arm社と開発ツールの販売代理店契約を締結するなど、開発業務にとどまらず、製品化や量産対応、要員教育、メンテナンス、ユーザ・サポートなど、お客さまのビジネスを様々な側面からサポートしてまいります。



2018年2月期の総括

2018年2月期の業績 (2017年2月期比増減率)

売上高	8,223百万円	(3.9% ↑)
営業利益	586百万円	(18.7% ↑)
経常利益	588百万円	(17.6% ↑)
親会社株主に帰属する 当期純利益	425百万円	(22.3% ↑)

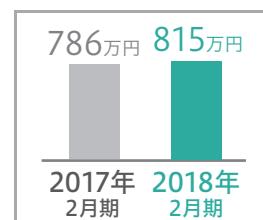
2018年2月期の総括

売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益ともに順調に推移して増収・増益となりました。

2018年4月より事業譲渡を受けたIoT分野に関しましては、中長期的な観点で収益の拡大に貢献出来るよう、投資をスタートしております。

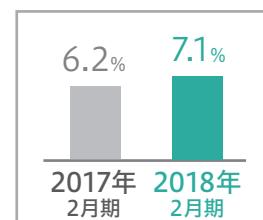
新規技術分野への進出、受託開発業務の拡大、人材育成を推し進めた結果、「一人当たり売上高」や「営業利益率」が改善しました。

一人当たり売上高



※売上高÷期中平均従業員数

営業利益率



※営業利益÷売上高×100(%)

新規取引先の状況

新規の取引先だけで7億5千万円の取引実績をあげており、当社グループの営業、提案、技術、品質、対応力など全ての面で高い評価をいただいております。

新規取引先・2018年2月期実績 (抜粋)

A社 (SIer)・新規サービスの開発	: 24百万円
B社 (損保)・海外子会社のシステム開発	: 10百万円
C社 (サービス)・自動運転関連のシステム評価	: 11百万円
D社 (建設・土木)・建造物のモニタリングシステム開発	: 11百万円

新規取引先売上高

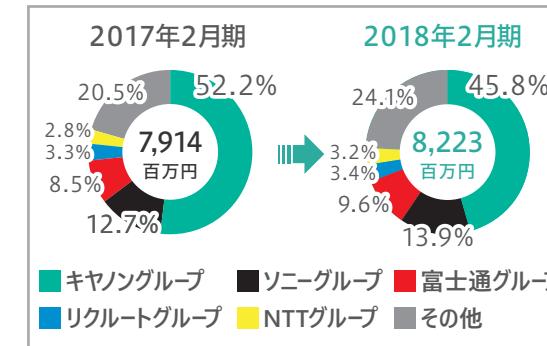


顧客別構成比率

顧客別構成比率では、取引先総数が増加し、課題としておりました1社依存体質からの脱却が進展しました。

ソニーグループでは、放送機器やホームネットワークが好調なことに加え、新規分野でも積極的に開発に参画しております。

富士通グループは、業務系システム開発案件や評価コンサルティング分野が拡大しております。



取引先総数と実績

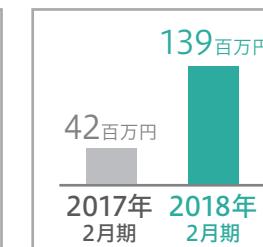
既存取引先への営業や提案を強化したことに加え、新規顧客の開拓と深掘りが大きく寄与し、その他取引先も伸長しております。

特に日立グループとの取引では、自動運転技術を中心に、当社グループの組込み技術が貢献、売上高ベースで前年同期比3.3倍となりました。

取引先総数



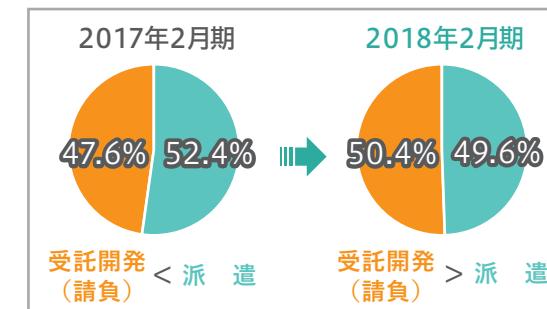
日立グループ取引実績



売上構成比率 (契約種別)

受託開発業務の拡大は徐々に進み、2018年2月期に50.4%となりました。

現状の収益性や人材の能力を鑑みて、受託開発比率を60%まで引き上げ、受託開発と派遣のバランスを最適化することで成長を促し、収益面においてより強固で安定したものとなると考えております。



2019年2月期の見通し

2019年2月期の予想 (2018年2月期比増減率)

売上高	8,350百万円	(1.5%↑)
営業利益	625百万円	(6.7%↑)
経常利益	632百万円	(7.5%↑)
親会社株主に帰属する 当期純利益	427百万円	(0.4%↑)

2019年2月期の展望

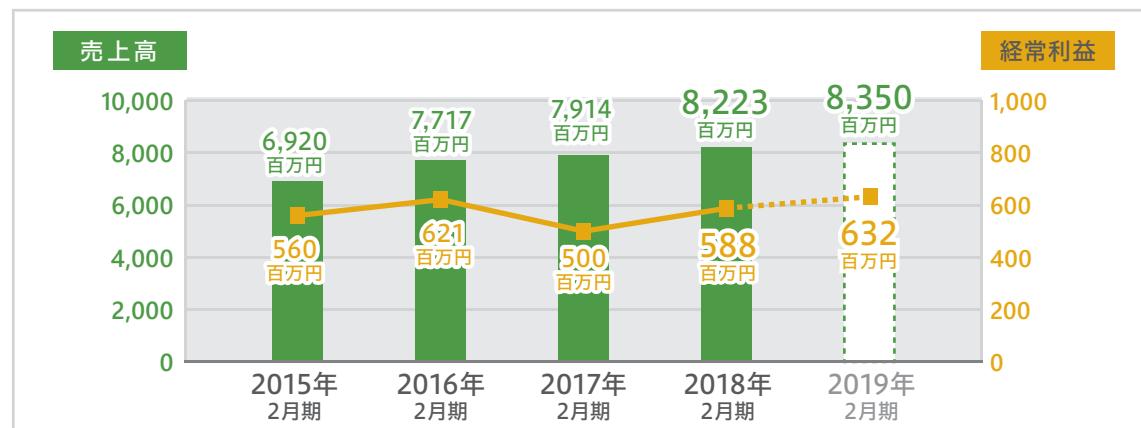
今後のIT業界において、各種開発案件は堅調に推移するものと思われませんが、米国を発端とする貿易問題やアジアにおける地政学のリスク等も懸念されております。

このような環境の中で当社グループといたしましては、引き続きAIや自動運転などの新しい技術の習得に注力するとともに、既存顧客に対しましても、満足度の高いサービスを提供していくことに最善を尽くしてまいります。

また、社員の育成や教育も継続し、強固な基盤を作っていく所存です。

2019年2月期の通期の業績予想は、売上高8,350百万円、営業利益625百万円、経常利益632百万円、親会社株主に帰属する当期純利益427百万円を見込んでおります。

売上高・経常利益の推移予想



人材採用、PL・PM育成



PL (プロジェクトリーダー) :
スケジュール・仕様・メンバー・品質などを管理。

PM (プロジェクトマネージャー) :
複数のプロジェクトの総責任者。プロジェクトの提案・見積・契約から納品までを管理・統括。

人材採用

新卒採用を中心として有能な人材の確保は概ね順調に進んでおり、今年の4月には47名の新入社員が入社しております。

また、受託開発案件の拡大に伴い幅広い技術にふれ、技術力の向上につながるような指導・教育を強化してまいります。

エンジニア育成

ローテーションを推進することで、スキルの多角化や顧客とのコミュニケーション能力、さらには環境適応能力の向上を進めております。

マネージャーの育成

受託開発案件やプロジェクトを多数経験することで、PL・PM層の育成・強化を進めてまいります。

販路拡大・多角的な収益構造



トピックス

自動車関連分野における取引拡大
日立グループとの取引を強化

パートナー企業を積極活用
技術力+管理能力を備えた人材育成

大手ITサービス企業との協業継続
急増するIoT分野への対応強化

日立グループとの取引が拡大傾向にあるなど概ね順調です。同時に、IoT分野での引き合いも急増しており、案件化に向けて取引先との関係強化を進めている状況です。今後もスピード感を持って、積極的に展開します。また、引き続き自動車、医療、航空宇宙、金融サービス、ロボット分野を重点ターゲットとして、新規開拓営業、業務提携、M&Aなどを模索いたします。

売上高 (連結)



経常利益 (連結)



貸借対照表 (連結)

(単位: 千円)

科 目	2017年 2月期	2018年 2月期	科 目	2017年 2月期	2018年 2月期
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流動資産	2,762,731	3,263,422	流動負債	597,863	805,609
固定資産	805,146	756,900	固定負債	194,875	197,760
			負 債 合 計	792,739	1,003,369
			(純 資 産 の 部)		
			株主資本	2,775,138	3,016,954
			純 資 産 合 計	2,775,138	3,016,954
資 産 合 計	3,567,877	4,020,323	負 債 純 資 産 合 計	3,567,877	4,020,323

親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)



純資産/総資産 (連結)



損益計算書 (連結)

(単位: 千円)

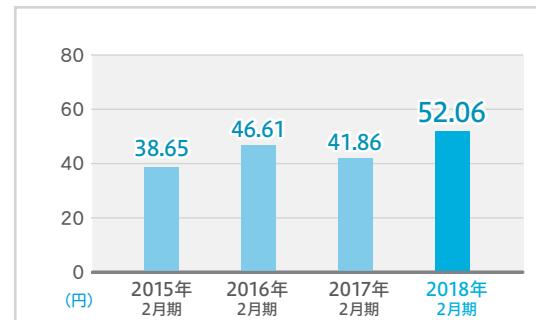
科 目	2017年 2月期	2018年 2月期
売上高	7,914,087	8,223,672
売上原価	6,419,600	6,662,527
売上総利益	1,494,487	1,561,144
販売費及び一般管理費	1,000,987	975,137
営業利益	493,500	586,007
営業外収益	26,592	2,266
営業外費用	19,922	95
経常利益	500,169	588,178
特別利益	-	2,719
税金等調整前当期純利益	500,169	590,898
法人税等合計	152,425	165,759
当期純利益	347,744	425,138
親会社株主に帰属する当期純利益	347,744	425,138

キャッシュ・フロー計算書 (連結)

(単位: 千円)

科 目	2017年 2月期	2018年 2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	219,687	540,058
投資活動によるキャッシュ・フロー	94,625	△13,546
財務活動によるキャッシュ・フロー	△327,661	△183,025
現金及び現金同等物の増減額	△13,348	343,486
現金及び現金同等物の期首残高	1,403,635	1,390,286
現金及び現金同等物の期末残高	1,390,286	1,733,773

一株当たり当期純利益[※] (連結)



一株当たり純資産[※] (連結)



※ 当社は、2017年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割については、2015年2月期期首に株式分割が行われたものと仮定して、一株当たり当期純利益、一株当たり純資産を算定しております。

株主優待について (毎年8月31日基準日)

本年度(2018年8月31日基準日)のご案内

対象	2018年8月31日(基準日)に当社株式を1単元(100株)以上ご所有の株主様	
優待内容	1単元(100株)以上、 10単元(1,000株)未満	500円相当の QUOカード
	10単元(1,000株)以上	2,000円相当の QUOカード
贈呈方法	優待品は中間決算関係書類(11月発送予定)と共に同梱いたします。	



配当について

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、株主様への利益還元を経営課題の一つとして位置付け、長期的な利益成長に向けた企業買収や設備投資、研究開発のための内部留保の充実を図りながら、業績に応じた株主様への利益還元を継続的に行っていくことを基本方針としております。この基本方針のもと、業績及び財務状況等を総合的に勘案し、期末配当を前回予想に対して50銭増配の1株当たり12円50銭に修正させていただきます。

配当金推移

一株当たり 配当金	2015年 2月期		2016年 2月期		2017年 2月期		2018年 2月期		2019年 2月期予想
中間配当	[13.0円]	6.5円	[19.0円]	9.5円	[21.0円]	10.5円	[24.0円]	12.0円	13.0円
期末配当	[18.0円]	9.0円	[20.0円]	10.0円	[21.0円]	10.5円	-	12.5円	13.0円
年間配当	[31.0円]	15.5円	[39.0円]	19.5円	[42.0円]	21.0円	-	24.5円	26.0円
配当性向	40.1%		41.8%		50.2%		47.1%		49.7%

(注) 当社は、2017年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。上記では2015年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定した配当金の額を記載しております。参考までに、分割前の実際の配当額を〔〕内に記載しております。

株式基本情報

(2018年2月28日現在)

証券コード	2186
上場市場	株式会社東京証券取引所 ジャスダック市場
事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
期末配当支払株主確定日	2月末日
中間配当支払株主確定日	8月31日
株主総会	毎年5月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
株式手続きのお問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 テレホンセンター: 0120-232-711 受付時間 平日 9:00~17:00 (土日祝休み) 郵送物送付先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
発行可能株式総数	29,600,000株
発行済株式総数	8,167,498株
株主数	4,340名
公告方法	電子公告 (事故その他やむを得ない事由が生じ、電子公告を行うことができない場合には、日本経済新聞に掲載します)

株主数推移



株式分布状況

(2018年2月28日現在)

所有者別情報



所有株式数別情報



大株主

(2018年2月28日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
エバーコア株式会社	3,480,000	42.60
ソーバル従業員持株会	1,003,000	12.28
川下 奈々	377,440	4.62
推津 敦	377,440	4.62
和田 昌彦	74,000	0.90
丸田 卓	61,900	0.75
新海 秀治	61,600	0.75
日本トラスティサービス信託銀行株式会社	58,000	0.71
蔵方 肇	50,000	0.61
町田 泰則	43,000	0.52

会社情報 / 株式手続き

会社概要

(2018年2月28日現在)

社名	ソーバル株式会社
設立	1983年1月
本社所在地	〒141-0001 東京都品川区北品川5-9-11 大崎MTビル
資本金	214百万円
事業内容	・組込み開発 (ソフトウェア・ハードウェアの設計開発) ・アプリケーション開発 ・WEB・クラウド開発 ・品質評価 ・マニュアル制作 ・IoTソリューション
従業員数	連結:1,003名 単体:891名
ホームページ アドレス	http://www.sobal.co.jp/

株式手続き

住所・氏名・振込口座などの変更について

ご住所の変更や配当金の受取り方法等、株式に関する手続きのお問合せ先は下記をご参照ください。

一般口座を ご利用の株主様	お取引先の証券会社までお問合せください。
特別口座を ご利用の株主様	三菱UFJ信託銀行株式会社(証券代行部) 電話番号: 0120-232-711 受付時間: 9:00~17:00(土日祝休み) URL: http://www.tr.mufg.jp/daikou/ 【郵送物送付先】 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

役員紹介

(2018年5月24日現在)

取締役	
代表取締役会長	推津 順一
代表取締役社長 兼 CEO	推津 敦
取締役副会長	稲葉 勝巳
専務取締役	東谷 正雄
専務取締役	舊橋 学
専務取締役	河原 浩一
取締役	山林 敬

監査役	
常勤監査役	伊藤 光男
監査役(公認会計士)	森 正人
監査役(弁護士)	小野寺 眞美

執行役員	
専務執行役員	大久保 仁美
専務執行役員	島谷 裕一
執行役員	西岡 建太
執行役員	杉山 義雄
執行役員	古屋 繁之
執行役員	岩崎 恭治

IRに関するお問合せ先

	ソーバル株式会社 IR担当窓口 〒141-0001 東京都品川区北品川5-9-11 大崎MTビル TEL: 03-6409-6138 (受付時間 平日 9:00~17:00)
IRサイトアドレス http://www.sobal.co.jp/ir/	